

本郷中学校区

<p>実施事項 (すべて)</p>	<p>①小中連携推進事業 みずほ台小学校 毎週火曜日 水谷小学校 毎週水曜日</p> <p>②小中連絡会</p> <p>③各種たより・広報誌の交換</p>
<p>カリキュラム作り に取り組んだ 教科・領域等 (英語科)</p>	<p>【成果と課題】</p> <p>○小学校英語科の各単元において、中学校教員がどのような指導・支援を行ったかを年間指導計画に記載した。それにより、より効果があげられる工夫について各校の担当者の共通理解が深まった。</p> <p>・次年度以降、各校の担当者が一堂に会し、上記内容について研究を深めていきたい。</p>
<p>乗り入れ授業の 教科・領域 (英語科)</p>	<p>【成果と課題】</p> <p>○中学校の教員が小学校での英語科の学習内容を把握することで、中学校での指導に生かすことができた。</p> <p>○小中一貫教育支援員が、授業支援(会話デモンストレーション、発音練習、活動のアイデアの提供等)を通して、苦手意識のある児童への個別支援を丁寧に行うことができた。</p> <p>・各学校及び小中一貫教育支援員との連絡調整が煩雑である。</p> <p>・中学校教員、英語専科教員、AET、学級担任と4名体制(または学級担任不在の3名)で小学校の授業を実施するときがある。1時間の授業に専門性の高い教員が複数名入らないようにしたり中学校教員とAETでの授業とならないようにしたり、小学校側の時間割の調整が必要となる。</p>
<p>令和4年度の 取組について</p>	<p>【成果と課題】</p> <p>○各小学校の英語授業において、中学校の教員がかかわることにより、小学校の児童は中学校の授業の雰囲気を感じる事ができた。これにより、少しでも中学校での学習に対して、期待を抱くとともに、不安を軽減することができた。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、会議を催すことや児童生徒が各校を訪問することができず、9年間を見通した活動に取り組むことができなかった。</p>
<p>令和5年度に 向けて</p>	<p>○英語科以外の教科等についての、小中連携の推進を図るため、中学校区における「目指す子ども像」の研究を進めたい。</p> <p>○小学校教員が中学校を訪問し、中学校の教育活動に関わる機会を設けたい。</p> <p>○AETの勤務日の放課後に小学校及び中学校の教員と一緒に話し合う時間を確保し、効果的な授業展開について検討していきたい。</p> <p>○中学校の教員が小学校の英語科授業の改善だけでなく、生徒指導・教育相談、進路・キャリア教育の視点からも指導できるようにしていきたい。</p>